



プログラム／ゲスト卓話

ゲスト紹介 ▶▶ 藤田弘美 米山記念奨学会委員長

今月は米山記念月間です。米山記念奨学生のゲンティ ホンケンさんはベトナムのハノイ出身で、9月に23歳になりました。国際ビジネス公務員大学校オフィスビジネス科に在学されています。三姉妹の長女で、一番下の妹さんとは年が離れているそうです。お母さんは40歳になったばかりだそうです。今日のために準備をしていただきましたので、さっそく話をお聞きしたいと思います。



ゲスト卓話 1

米山記念奨学生
ゲンティ ホンケンさん

皆さんこんにちは。米山記念奨学生として郡山アーバンRCにお世話になって6か月になりました。ベトナムに行ったことがある方もいると思いますが、ベトナムのことを少しご紹介したいと思います。

ベトナムの文化は独特と言われ、毎年外国からたくさんの観光客が訪れます。独自の文化のひとつはお祭りです。年間にたくさんのお祭りがありますが、最大のお祭りは旧暦のお正月です。

お正月は旧暦 1 月 1～3 日までで、新しい春の始まりであり、幸せな一年を送れるように願います。お正月の 2 週間ほど前から、家を掃除したり飾り立てたりして準備し、花や食品など必要なものを買いに行きます。お正月に不可欠な花はラオで、ベトナムのお正月を象徴する花です。どの家でも花をたくさん飾ります。ラオは日本の桜に似ています。お正月には市場や町も飾り立てられます。学生や子供やお年寄りに長寿を願って祝いの言葉を書いた文字を贈ります。

お正月の前に忘年会も開かれ、家族だけでなく親戚、友達を招待して一緒に食事をします。大晦日も正月を迎えるための重要な行事で、みなでお寺にお参りに行き、そのあとに花火を見に行きます。お正月は家族にとって最も大事な日です。子供達が祖父母や両親に新年の挨拶と健康を祈る挨拶をするために、離れて住んでいる人は実家に帰り、家族みんなが一緒に過ごします。

2日には親戚の家と近所の家に新年の挨拶に行きます。3日には友達と一緒に先生の家へ新年の挨拶に行きます。ベトナムでは教師は敬われる仕事で、11月20日は教師の日とされ、先生は学生からプレゼントをもらいます。

お年玉をあげる習慣があり、一般的にはお年寄りや子供達にあげます。お寺でのお祭りなど、地域によってさまざまな催し物があります。私の故郷の村にもお寺のお祭りがあります。チームで船に乗って競争し、一番早く着いたチームがプレゼントをもらいます。日本の相撲に似た競技も行われます。

お正月に食べる料理は普段の日より豊富です。不可欠な料理は、もち米から作るバイチュンと、お菓子のムットです。バイチュンは

伝統的な食べ物で、12時間ほどゆでて作ります。おいしいです。ムットは果物から作ります。昔はベトナムの家は木で作られました。私の家には父と母と妹二人がいます。

日本に来て1年半ほどになりました。日本で就職したいと思っていますので、お正月を家族と一緒に過ごすことは難しいかもしれませんが、寂しいことや困ることもありますが、乗り越えて努力すれば自分の願望を達成できると信じています。

学校では主に簿記を勉強していますので、できれば経理関係に就職できればと思っています。

ゲスト卓話 2

一般社団法人 ベルナ・チャイルドサポート
代表理事 辻 由香里様

モンゴル伝統芸能チャリティーコンサートのご案内

11月10日(金)午後6時30分から、モンゴルの児童保護施設「太陽のこどもたち」によるモンゴル伝統芸能チャリティーコンサートを郡山文化センター大ホールで行います。

モンゴルは、冬はマイナス40度、夏はプラス40度という過酷な環境で、人口は300万人、国土は日本の5倍です。劣悪な環境にある子供達のために、60代の女性が私立の施設を作り、素晴らしい教育成果を上げています。国と共に奨学金支援も行って、素晴らしい子供達が育っています。

来日公演の売り上げは子供達の生活の糧になっていますが、東日本大震災の時には子供達が心を痛めてチャリティーコンサートを開催し、大使館を通じて日本に義援金を送りました。

外務省のホームページに掲載され、会津若松の弓田建設社長が見たことから、昨年は会津若松でコンサートを行い、今回は郡山で開催させていただき運びとなりました。皆様にご紹介の機会をいただいた鈴木尚子様へ感謝を申し上げます。



ロータリー財団寄付者 ▶▶

■ 橋本弘幸 ■ 佐藤功一

米山記念奨学会寄付者 ▶▶

■ 増子ふみえ ■ 津野順子 ■ 鈴木かおる ■ 白岩邦俊
■ 橋本弘幸 ■ 佐藤功一

ポリオ寄付者 ▶▶

■ 鈴木かおる ■ 橋本弘幸

▶▶ 閉会点鐘